

FAX送信用

令和 4 年 9 月 8 日

関係者各位

苫小牧労働基準監督署

業種別労働災害発生状況について

日頃より労働基準行政の推進について、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当署管内の業種別労働災害発生状況（令和4年8月末速報値）を別紙のとおり取りまとめましたので、参考までに送付いたします。

なお、北海道労働局のホームページ（http://hokkaido-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/jirei_toukei/anzen_eisei/saigai.html）には、当署を含め全道各署の労働災害発生状況を掲載（毎月10日頃更新予定）しておりますので、御参照ください。



担当：苫小牧労働基準監督署 第2方面
電話：0144-88-8900

令和4年 業種別労働災害発生状況

(令和4年8月末現在)

苫小牧労働基準監督署

業種別	区分	令和4年				令和3年				対前年		業種割合
		死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	増 減 数	増 減 率	
全産業合計		4	(18) 453	(18) 457	104	3	(9) 342	(9) 345	101	112	32.5	100.0
除く鉱業計		4	(18) 453	(18) 457	104	3	(9) 342	(9) 345	101	112	32.5	100.0
製造業		2	(1) 79	(1) 81	24	1	(2) 62	(2) 63	15	18	28.6	17.7
内 訳	食料品	1	25	26	4		(2) 22	(2) 22	8	4	18.2	5.7
	木材木製品		10	10	4		7	7	1	3	42.9	2.2
	紙・パルプ		4	4	4		4	4				0.9
	窯業・土石		8	8	2		4	4	1	4	100.0	1.8
	金属・機器		(1) 9	(1) 9	1		5	5		4	80.0	2.0
	輸送用機械		11	11	7		3	3	1	8	266.7	2.4
	その他	1	12	13	2	1	17	18	4	-5	-27.8	2.8
鉱業												
土石採取			2	2	1		1	1		1	100.0	0.4
建設業		1	(2) 35	(2) 36	3		(1) 43	(1) 43	4	-7	-16.3	7.9
内 訳	土木工事業		(2) 9	(2) 9	1		(1) 16	(1) 16		-7	-43.8	2.0
	建築工事業		11	11	1		19	19	3	-8	-42.1	2.4
	木造建築業		8	8	1		4	4		4	100.0	1.8
	その他の 工事業	1	7	8			4	4	1	4	100.0	1.8
道路貨物運送業		1	(7) 57	(7) 58	19		(1) 49	(1) 49	11	9	18.4	12.7
その他の運輸業			4	4	3		(1) 4	(1) 4	3			0.9
陸上貨物取扱業							2	2	1	-2	-100.0	
港湾荷役業			3	3			4	4		-1	-25.0	0.7
林業			4	4		1	2	3		1	33.3	0.9
漁業			2	2			1	1		1	100.0	0.4
卸売・小売業			(3) 38	(3) 38	17		(2) 40	(2) 40	20	-2	-5.0	8.3
清掃業			14	14	8	1	16	17	7	-3	-17.6	3.1
ゴルフ場			4	4			6	6	3	-2	-33.3	0.9
その他の事業			(5) 211	(5) 211	29		(2) 112	(2) 112	37	99	88.4	46.2

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計した速報値であり、修正することがあります。

() 内は交通事故で内数です。

転倒災害は内数です。

令和4年 業種別労働災害発生状況 (その2)

「その他の事業」の内訳

(令和4年8月末現在)

業種別	区分	令和4年				令和3年				対前年		業種割合
		死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	死亡	休業 4日 以上	合計	転倒 災害	増 減 数	増 減 率	
農 業			6	6	3		5	5	3	1	20.0	1.3
畜 産 業			28	28	2		19	19	3	9	47.4	6.1
理 美 容 業							1	1		-1	-100.0	
その他の 商 業			4	4			1	1	1	3	300.0	0.9
金融・広告業							4	4	3	-4	-100.0	
映画・演劇業												
通 信 業			(2) 10	(2) 10	2		(2) 3	(2) 3		7	233.3	2.2
教育・研究業			(1) 2	(1) 2			4	4	2	-2	-50.0	0.4
保健・衛生業			137	137	12		47	47	13	90	191.5	30.0
飲 食 店			(1) 9	(1) 9	4		15	15	6	-6	-40.0	2.0
その他接客娯楽業 (除くゴルフ場)			3	3	1		2	2	1	1	50.0	0.7
その他の 事 業			(1) 12	(1) 12	5		11	11	5	1	9.1	2.6
合 計			(5) 211	(5) 211	29		(2) 112	(2) 112	37	99	88.4	46.2

令和4年 死亡災害発生状況

(令和4年8月末現在)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生月	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	1	13時台	その他の製造業	10人～30人	はさまれ 巻き込まれ	動力運搬機	事業場敷地内において、けん引車両とトレーラーを連結する作業中、被災者がトレーラーの連結部付近で除雪作業を行っていたところ、けん引車両が後進して同車とトレーラーに挟まれたもの。
2	3	16時台	自動車運送業	10人～30人	転落	両系木材 伐出等機械	伐採作業が終了した林業現場において、当該現場にて発生した残材を収集するため木材グラブ機を運転していたところ、当該機械が築材道の路肩から転落し、この際に運転席から投げ出された被災者が、当該機械の下敷きとなったもの。
3	8	13時台	食料品製造業	100人～300人	崩壊 倒壊	荷姿の物	工場の冷凍庫内において、被災者が崩れてきた袋物の荷の下敷きとなったもの。同庫内では、別の労働者がフォークリフトを用いパレット上に積まれた袋物の荷の運搬のための作業を行っていたところ、横に積み重ねられていた荷が崩れてきたもの。
4	8	9時台	機械器具設置工事業	～9人	墜落 転落	その他の設備	被災者が石炭灰貯蔵サイロの灰出し作業中、当該サイロ内のホッパー上に堆積した灰の上に乗じ、バキュームホースを用いて当該灰を吸い出していたところ、足元の状態が緩み、堆積灰の中に埋没したもの。

過去10年間の死亡災害発生状況

発生前年	24	25	26	27	28	29	30	令和	2	3	合計
死亡件数	4	4	8	9	5	9	4	3	2	5	53
	(1)		(4)		(2)				(2)		(9)

※死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数

1 労働災害発生状況について

令和4年8月末現在の全産業における労働災害（死亡及び休業4日以上）は457件でした。前年同期に比べ2割以上増加している業種の増加件数は、木材木製品製造業3件（42.9%）、窯業・土石製造業4件（100.0%）、金属・機器製造業4件（80.0%）、輸送用機械製造業8件（266.7%）、土石採取業1件（100.0%）、木造建築業4件（100.0%）、その他の工事業4件（100.0%）、林業1件（33.3%）、漁業1件（100.0%）、農業1件（20.0%）、畜産業9件（47.4%）、その他の商業3件（300.0%）、通信業7件（233.3%）、保健・衛生業90件（191.5%）、その他の接客娯楽業1件（50.0%）となっています。

また、災害の型別では、その他135件（29.5%）、転倒104件（22.8%）、墜落・転落44件（9.6%）、はさまれ・巻き込まれ36件（7.9%）、動作の反動・無理な動作35件（7.7%）の順に多く発生しており、これらで全体の4分の3以上を占めています。

2 全国労働衛生週間について

令和4年10月1日から10月7日までを本週間（9月1日から9月30日までを準備月間）とし、73回目の全国労働衛生週間が展開されています。

今年のスローガンは、「あなたの健康があってこそ 笑顔があふれる健康職場」です。

これを機会に労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する職場の自主的な活動を展開しましょう。

なお、実施要綱は厚生労働省のホームページからダウンロードできますので、ご活用ください。



リンク先の2次元コード